

2023年4月19日  
東海旅客鉄道株式会社  
東海キヨスク株式会社  
株式会社ジェイール東海パッセンジャーズ

## ＪＲ東海グループ流通事業の再編について

ＪＲ東海の駅構内を中心に小売店舗を運営する東海キヨスク株式会社と株式会社ジェイール東海パッセンジャーズは、流通事業におけるサービス向上を目的に、2023年10月1日に合併し、新社名を「株式会社ＪＲ東海リテイリング・プラス」とします。

新会社は、ご旅行中のお客様に旅の楽しさを更に感じていただくとともに、沿線にお住まいの方の日常的なニーズにも今以上にお応えする店舗展開を進め、駅の魅力を高めていきます。

### 1. 合併の概要

- ・東海キヨスク株式会社（以下、キヨスク）と株式会社ジェイール東海パッセンジャーズ（以下、ＪＲＣＰ）の２社が合併します。
- ・社名：株式会社ＪＲ東海リテイリング・プラス  
＜社名の由来＞  
お客様に旅や日常の中で心ときめくプラスの時間を感じていただける会社になりたいという思いを込めました。その実現に向けて、すべての従業員が「お客様にどのようなプラスの価値をご提供できるか」を常に考えて取り組んでいきます。
- ・事業内容：両社の事業を継承し、駅構内小売事業、フランチャイズ（以下、ＦＣ）事業、新幹線車内販売事業（パーサー業務含）、駅弁製造事業の４事業を運営します。
- ・資本金：７億円
- ・本社所在地：東京・名古屋の２本社制（登記上の本社は名古屋）
- ・合併期日：2023年10月1日（予定）

### 2. 合併のねらい

- ・これまでキヨスクは土産品を中心に、ＪＲＣＰは弁当を中心に扱っていましたが、合併により駅構内店舗の集約・大型化を進め、お客様が土産品・弁当・飲料等をワンストップでお買い求めいただける環境を整えます。
- ・駅構内における店舗の役割や配置を見直し、「旅行や出張時の利用」「通勤・通学時の利用」「駅周辺にお住まいの方の日常利用」など、お客様の多様なニーズに対応した商品を取り揃えます。
- ・地域に根づいた商品仕入れや食品製造といった両社の強みをかけ合わせ、「ご当地商品の品揃え強化」や「できたて食材のご提供」、「新たなＦＣブランドの展開」等を進め、駅の魅力を高めていきます。

※別紙１：新会社の事業概要と合併のねらい（具体例）

別紙２：現２社の概要

## ◎ J R 東海リテイリング・プラスの事業

～旅や日常で『お客様が心ときめくプラスの時間』をお届けできる企業を目指します～

【駅構内小売事業】

【F C 事業】

【新幹線車内販売事業】

【駅弁製造事業】



※パーサー業務含

## ◎ 合併のねらい（具体例）

【ワンストップでお買い求めいただける店舗へ】

2社の品揃えを1店舗に統合。  
土産品や弁当、飲料等をワンストップ  
でお買い求めいただけます。



土産品・菓子

弁当

（名古屋駅の一体化店舗）

【多様なニーズに対応した店舗展開】

駅の店舗の役割や配置を見直し、お客様の多様なニーズにあった店舗展開を進めます。一例として京都駅の大型店舗では、2社のノウハウを集め、観光客・出張者向けの土産品に加え、米飯・パンを充実させたり人気グルメの催事スペースも用意し、通勤・通学の行き帰りの日常利用に対応しました。



（京都駅  
「プレシャスデリ&ギフト」）

【ご当地商品の品揃え強化】

地元の人気ベーカリーから売れ筋商品を毎日取り寄せる等、地域の事業者とも連携し、ご当地商品の取扱いを強化します。



（大曽根駅のコンビニ店舗）

【できたて食材のご提供】

ホーム上店舗で調理した、できたての弁当や総菜をご提供します。  
（東京駅18・19番線ホーム  
「ホーム厨房 米'n」）



【新たなF Cブランドの展開】

「スープストックトーキョー」を新たなF C事業で展開します。  
※東海地区に秋頃オープン



# 現2社の概要

別紙2

<b>会社名</b>	東海キヨスク(株)	(株)ジェイアール東海 パッセンジャーズ
<b>主な事業</b>	駅構内小売事業	駅構内小売事業、F C事業、新幹線車内販売事業、駅弁製造事業
<b>主な店舗</b>	Kiosk、Bellmart Kiosk、GIFT KIOSK、GRAND KIOSK	DELICA STATION、旬菜、スターボックス (F C)
<b>本社所在地</b>	愛知県名古屋市中村区名駅 3-22-8 大東海ビル	東京都中央区日本橋 3-1-17 日本橋ヒロセビル
<b>代表者</b>	加藤 公一	松尾 啓史
<b>設立</b>	昭和62年6月5日	昭和63年5月23日
<b>資本金</b>	7億円	1億円
<b>取扱高</b> ※令和4年度見込	532億円	303億円